

## <監督の言葉>

幸せな「死」＝ハッピーエンディングを求めて、新たな旅がはじまる。

関口 祐加（せきぐち・ゆか）

『毎アル2』完成後、母は脳の虚血症発作を起こし4回も意識不明で倒れ、その度、不  
死鳥のようによみがえりました。しかし、同時に認知症も進行し、2017年1月の脳検  
診では、記憶を司る海馬の大幅な萎縮と脳内の白質病変の増加を確認しました。

母は「死ぬのを忘れてる」と笑いますが、いつ脳の虚血症発作を起こすか分からない  
状態です。母のアルツハイマー型認知症と付き合って丸7年、「この先どのぐらい母  
を支えていけるのだろうか？」と初めて在宅介護に不安を覚え、母の“命”を預かる責  
任の重さを感じました。

認知症になっても、ならなくても、誰にでも人生の最終章はやってくる。最新作  
「毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル」は、認知症だけでなく、普遍的なテーマで  
ある「死」についても深く掘り下げたいと思っています。

特に今回、国内外の認知症ケア施設、緩和ケア病棟などを撮影して<幸せな“死”＝ハ  
ッピーエンディング>はあるのだろうかと考えるようになりました。自然死、平穏  
死、尊厳死、安楽死.....命が尽きるその瞬間まで「生きてきてよかった」と心から  
満足を得られる死とは一体どのようなものなのか？えっ、深刻すぎる？どうぞご安心  
ください。『毎アル』シリーズ特有の笑いとユーモアの精神満載ですから！

おかげさまで海外を含む大きな撮影はすでに終え、現在、編集・仕上げの大詰めを迎え  
ていますいよいよ完成まで、これからが正念場。さらなる資金が必要です。

皆さまからご支援をいただきたく、ここに『毎アル ザ・ファイナル』製作応援プロジ  
ェクトを立ち上げた次第です。ご参加くださいますよう、どうぞよろしくお願い致しま  
す。